

授業科目名	保育所実習指導	科目コード	K1304F02
英文名	Guidance on Day Nursery Practical Training II		

科目区分	子ども育成の実習
------	----------

職名	准教授 講師	担当教員名	本江 理子 竹田 好美
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日 月曜日	時限	2限目 3限目
開講時期	4年通年	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	1単位

授業の概要	<p>保育所実習 の事前事後指導として行う。保育所における実習の意義や目標について理解し、保育の観察・記録・自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題・認識を明確化する。(担当教員：保育所や幼稚園での実務経験あり)</p>				
-------	--	--	--	--	--

キーワード	3歳以上児の生活と	専門性と職業倫理	教材研究・指導案	自己課題の明確化	総合的な学び
-------	-----------	----------	----------	----------	--------

到達目標	保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。(40%)				
	保育士の専門性と職業倫理について理解することができる。(20%)				
	実習や既習教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を高めることができる。(20%)				
	実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。(20%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)	地域に生きる専門職としての資質・能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	/		/	/	/

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>保育所実習 の概要 保育所実習 及びその事前事後学習の流れ 保育所実習 の目的と心構え</p> <p>「実習のまとめ」のデータ提出 データは、第1回の課題1に 添付提出（7月11日（月）15時まで）</p>	
	<p>【予習】体調を整える（自分なりの体力づくりを考え、実施） 実習が始まるまで、毎日行う</p>	90分
	<p>【復習】『実習の手引き』を熟読する</p>	90分
第2回	<p>実習日誌の書き方 （3歳以上児に関する事項の説明）</p>	
	<p>【予習】テキスト『実習日誌の書き方～幼稚園・保育所・施設実習完全対応～』を計画的に読み進める</p>	90分
	<p>【復習】テキスト『実習日誌の書き方～幼稚園・保育所・施設実習完全対応～』を計画的に読み進める</p>	180分
第3回	<p>実習日誌の書き方 （実際の例から学ぶ）</p>	
	<p>【予習】テキスト『実習日誌の書き方～幼稚園・保育所・施設実習完全対応～』を計画的に読み進める</p>	90分
	<p>【復習】テキスト『実習日誌の書き方～幼稚園・保育所・施設実習完全対応～』を計画的に読み進める</p>	180分
第4回	<p>指導案の書き方</p>	
	<p>【予習】テキスト『保育指導案大百科事典』を計画的に読み進める</p>	90分
	<p>【復習】テキスト『保育指導案大百科事典』を計画的に読み進める 教材研究の材料・資料を準備する</p>	180分
第5回	<p>教材研究 <様式> 指導案</p>	
	<p>【予習】テキスト『保育指導案大百科事典』を計画的に読み進める 教材研究の材料・資料を準備する</p>	180分
	<p>【復習】テキスト『保育指導案大百科事典』を計画的に読み進める 教材研究の材料・資料を準備する</p>	90分
第6回	<p>実習配属先の概要 <様式> 実習施設概要レポート 課題1に「実習施設概要レポート」を添付提出 実習に関する対応指針（改訂版Ver.3）</p>	
	<p>【予習】実習日誌の書き方、指導案の書き方を復習しておく 通える範囲内に、どのような保育施設があるか調べておく</p> <p>課題3に「実習生個人票」を添付提出</p>	90分
	<p>【復習】配属された実習先について調べる 実習日誌の書き方、指導案の書き方をさらに復習しておく</p>	90分
第7回	<p>指導案の作成 （グループ内での検討）</p>	
	<p>【予習】指導案を少なくとも5例仕上げてくる</p>	180分
	<p>【復習】次回の発表に向けて、指導案を再検討する</p>	90分

第8回	指導案の作成 (発表) 6月6日 実習前 最後の実習指導の授業内容	
	【予習】 次回の発表に向けて、指導案を再検討する	90分
	【復習】 実習全般に関しての準備を進める ・準備物のチェック ・身だしなみ(特に、ピアス 爪 注意) ・体調を整える(うがい 手洗い)	180分
第9回	実習課題の明確化 「実習のまとめ」について 実習までに提出するもの(6月4日のメール内容)	
	【予習】 実習の課題について考えておく 課題3に「自己紹介シート」を添付提出(実習が始まるまで)	90分
	【復習】 実習の課題についての準備を進める 実習先へ事前訪問を行い、実習の内容についてまとめておく 実習施設概要レポートを作成する	180分
第10回	実習のまとめを作成(構成を考える)	
	【予習】 実習日誌を振り返り、実習のまとめの構成を考えておく	90分
	【復習】 考えた構成に従って、内容を考える	90分
第11回	実習のまとめを作成(作成・提出) 「実習のまとめ」を授業時間内に提出(印刷したもの) データは、ここではなく、第1回の課題1に添付提出(15時まで)	
	【予習】 第10回の授業で考えた構成にしたがって、内容を考える	90分
	【復習】 実習のまとめから、発表内容を考える	90分
第12回	実習報告会の準備	
	【予習】 実習のまとめから、発表内容を考える	90分
	【復習】 実習報告会の準備を進める	90分
第13回	実習の自己評価	
	【予習】 実習の反省・自己評価に関して考えておく	90分
	【復習】 反省・自己評価に関してまとめる	90分
第14回	今後の自己課題の明確化	
	【予習】 今後の課題について考えておく	90分
	【復習】 自己課題に関してまとめ、課題解決の計画を実行する	90分

	総括	
第15回	【予習】 実習で学んだことと今後の課題を発表できるようにしておく	90分
	【復習】 実習全体を通しての今後の課題をまとめる	90分
第16回	【予習】	
	【復習】	
第17回	【予習】	
	【復習】	
第18回	【予習】	
	【復習】	
第19回	【予習】	
	【復習】	
第20回	【予習】	
	【復習】	
第21回	【予習】	
	【復習】	
第22回	【予習】	
	【復習】	
第23回	【予習】	
	【復習】	

第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	
第28回		
	【予習】	
	【復習】	
第29回		
	【予習】	
	【復習】	
第30回		
	【予習】	
	【復習】	
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平常点（受講態度等）(50%)、レポート（実習事後レポート）(50%)で総合的に評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 人間性：30% 社会性：30% 専門性：40%		
使用資料 <テキスト>	関仁志編著『実習日誌の書き方～幼稚園・保育所・施設実習完全対応～』（一藝社）	使用資料 <参考図書>	厚生労働省『保育所保育指針解説』（フレーベル館）
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・上記時間外においても、実習内容等に関して予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 ・子ども育成学部履修規程にある保育士養成課程の項をよく読んでおくこと。 		
授業外質問方法	授業の前後、オフィスアワーを中心に随時受け付けます。 オフィスアワーに授業が重なっている場合は、別の時間を予約してください。		
オフィス・アワー	前期... 木曜日2限（本江） ・ 月曜日4限（竹田） 後期... 水曜日2限（本江） ・ 水曜日2限（竹田） 本江研究室...E402 ・ 竹田研究室...E301		